

景観配慮協議結果通知書

鎌 都 景 第580-3号  
令和4年(2022年)12月2日

MIRARTH ホールディングス株式会社

代表取締役 島田 和一 様

三信住建株式会社

代表取締役 信田 博幸 様

鎌倉市長 松尾



次のとおり通知します。

景観協議番号	第 4-25 号
土地利用類型 の 名 称	住商複合地
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 外
行 為 の 場 所 (地名地番)	鎌倉市岡本二丁目62番1ほか2筆
行 為 の 種 類	建 築 物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転
	開 発 <input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 ( <input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区 ) <input checked="" type="checkbox"/> 外
協 議 事 項	<p>&lt;地区の特性・課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣商業地で、低中層の地域型の商業施設と住宅が混在している。</li> <li>・一部車対応型の商業施設の立地が見られるとともに、土地利用転換による中層の共同住宅の立地が目立っている。</li> </ul> <p>&lt;景観形成基準に係る協議内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の屋根及び外壁の基調色は、景観計画に適合している。</li> <li>・壁面の分節化により、圧迫感を感じさせないよう工夫されている。</li> </ul> <p>以上のことから、当該景観配慮協議対象行為は鎌倉市景観計画を理解した上で計画されているものである。</p>
備 考	